事業番号　62

平成２３年行政事業レビューシート　（警察庁）

事業名	警察用航空機の整備	担当部局庁	長官官房	作成責任者
事業開始・終了(予定）年度	－	担当課室	会計課装備室	装備室長 家永　宏之
会計区分	一般会計	施策名	複数施策に関連する経費（１～７）	
根拠法令（具体的な条項も記載）	警察法第37条第1項第6号 警察法施行令第2条第6号	関係する計画、通知等	－	

事業の目的（目指す姿を簡潔に。3行程度以内）

厳しい治安情勢の下、警察活動の基盤となる警察用ヘリコプターを国が整備し、これを有効に活用することで全国的に一定水準の警察活動を効果的に遂行するものである。

事業概要（5行程度以内。別添可）

警察用ヘリコプターは、パトカーと連携した容疑者の追跡･検挙、大規模災害発生時における遭難者の捜索･救助等各種の警察活動に多角的に活用されているところであるが、こうした警察活動を迅速･的確に遂行するため、新たに必要性が生じた警察用ヘリコプターの整備及び老朽化により飛行の安全性や航空性能が低下した警察用ヘリコプターの更新整備を図る。

実施方法　■直接実施　□業務委託等　□補助　□貸付　□その他

予算額・執行額（単位:百万円）

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
予算の状況	当初予算	3,227	2,304	5,229	3,701	5,004
	補正予算	0	261	849	326	
	繰越し等	0	0	△ 485	485	
	計	3,227	2,565	5,593	4,512	5,004
執行額		3,061	2,367	3,760		
執行率（%）		95%	92%	67%		

成果目標及び成果実績（アウトカム）

成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値（　年度）
(成果目標) 警察活動に必要な航空機を整備する。 (成果実績) 警察用航空機の保有数	成果実績	機	81	81	81	－
	達成度	%	－	－	－	

活動指標及び活動実績（アウトプット）

活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
警察用航空機整備機数	活動実績 (当初見込み)	機	5	2	4 (4)	― (3)

単位当たりコスト　432,600千円／機

算出根拠　平成22年度における航空機（小型双発）1機の整備に要する経費を単位当たりコストとする。

「単位当たりコスト＝X／Y」
X：22年度新規契約総額（1,730,400千円）
Y：22年度新規契約機数（4機）

平成23・24年度予算内訳

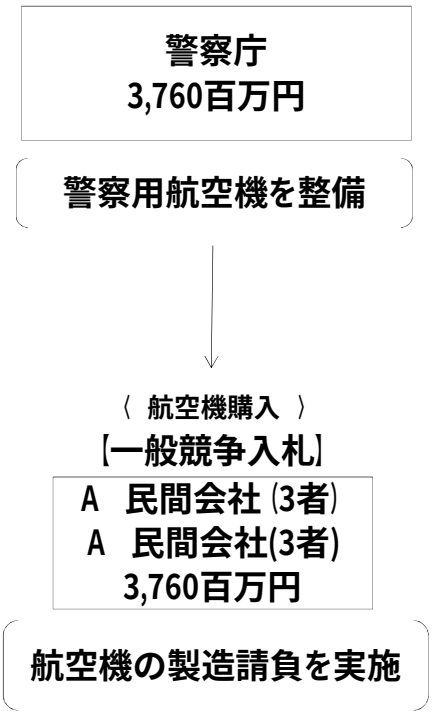
費　目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由
航空機購入	3,701	5,004	中型ヘリコプター2機の減耗更新の他、主に、東日本大震災に伴う罹災機の更新等、平成２３年度補正予算で国庫債務負担行為により調達した航空機の歳出化経費が要求の約8割（4,113百万円／5,004百万円＝82.2%）を占める。
計	3,701	5,004	東日本大震災復興関連事業（1,974百万円）

事業所管部局による点検			
	評価	項　　目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	1　支出先・使途の把握水準・状況 警察用航空機は、警察庁において一括調達しているので、支出先については把握している。 2　見直しの余地 警察用航空機は機動力を確保する上で必要不可欠なものであることから、引き続き老朽化した警察用航空機の更新や治安情勢に応じた充実強化を図る必要がある。 また、調達する際には、契約案件の都度、仕様の見直し・点検を行うとともに、過去の調達実績や市場の状況等を予定価格に反映させているところである。さらに、競争性、経済性を高めるため、警察庁において一括調達するといった取り組みを行っており、今後も効率的な予算執行に努める。		

予算監視・効率化チームの所見	
一部改善	1　支出先・使途等の実態把握の状況に関する所見 おおむね十分と認められる。 2　改善策の内容及び横断的見直しの状況に関する所見 平成24年度予算概算要求に当たり、実績単価の反映、性能の見直し、調達数の見直し等を実施し、予算の削減に努めること。 3　レビューシートのわかりやすさに関する所見 おおむねわかりやすい。

上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）
平成24年度予算概算要求に当たり、実績単価の反映、性能の見直し、調達数の見直し等を実施し、予算の削減に努めている。さらに、競争性、経済性を高めるため、一括調達を実施する等、今後も効率的な予算執行に努める。

補記　（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）
特になし

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：百万円）	※平成22年度実績を記入 

費目・使途
（「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）

A.ユーロコプタージャパン(株)

費 目	使 途	金 額 (百万円)
物品購入費	小型双発ヘリコプターの納入	1,224
計		1,224

B.

費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0

C.

費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0

D.

費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0

E.

費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0

F.

費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0

G.

費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0

H.

費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ﾕｰﾛｺﾌﾟﾀｰｼﾞｬﾊﾟﾝ(株)	小型双発ヘリコプターの納入	1,841	3	
2	三井物産(株)	中型ヘリコプターの納入	1,181	2	
3	三菱商事(株)	中型ヘリコプターの納入	738	2	
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

警察用航空機の活動状況

警察活動の適否は有事のスピード対応！　機動力確保とその効果的運用は警察活動の生命線！

警ら活動

雑踏警備や交通渋滞の情報収集

麻薬栽培の発見・検挙

不法投棄現場の発見・検挙

ﾍﾘﾃﾚによるﾅﾝﾊﾞｰ識別

ﾊﾟﾄｶｰとの連携した追跡検挙

遭難者の捜索救助

ﾎｲｽﾄによる山岳救助活動

警察用船舶との連携による水難救助活動

災害への対処

ﾍﾘﾃﾚによる情報収集

救助部隊の緊急輸送

ｽﾘﾝｸﾞによる物資輸送

孤立住民等の救助

警察用航空機は、都道府県警察本部に設置されている警察航空隊に配置され、通信指令室、警ら用無線自動車、警察用船舶等との連携を保持しながら、その有する高速性、広視界性の特性や、装備の機能を生かし、管内実態及び異常な事象の把握、捜索救助、緊急配備、被疑者の検挙、広報、輸送、各種警備等の警察活動に運用されている。